

(第2号様式)

那み支第 1766号
令和8年 3月10日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇みらい支援学校
校長 粟國 静夫
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月9日(水) 10:00~11:30	場所	会議室 他	出席 状況	評議員(4名)、校長、教頭、事務長、教務主任、部主事、1Fコーディネーター
第2回	日時	令和7年12月17日(水) 10:00~11:30(12:30)	場所	会議室 他	出席 状況	評議員(3名)、校長、教頭、事務長、教務主任、部主事、1Fコーディネーター
第3回	日時	令和7年7月9日(水) 10:00~11:30	場所	会議室 他	出席 状況	評議員(4名)、校長、教頭、事務長、教務主任、部主事、1Fコーディネーター

2 学校評議員に求めた事項

1 本校の学校運営について ①本校の学校概要 ②各学部(フロアー)の取り組みについて ③進路指導について 2 学校見学(授業見学等) 3 学校給食の試食 4 学校評価(外部評価) 5 本校の教育に期待すること

3 学校評議員の意見

1 体育祭や行事について、分散開催やICT活用など感染症対策を含めた工夫が評価された。一方、休日開催など参加しやすさの検討を求める意見があった。 2 キャリア教育や進路指導について、小学部段階から将来を見通した取組や、保護者への分かりやすい情報提供の充実が必要との助言があった。 3 金銭教育や消費者教育について、実生活に即した学習や講話等を通して、卒業後の生活を見据えた指導を求める意見があった。 4 学校評価は丁寧分析されていると評価される一方、課題解決に向けて「やめる・整理する」視点も重要であるとの指摘があった。 5 保護者や地域、関係機関との連携をさらに強化し、学校の取組を積極的に発信していくことが期待された。

4 学校運営に反映した事項

1 会議の時間短縮やリモート活用、校務分掌の整理等により業務の効率化を図り、教職員の働き方改革を推進した。 2 連絡手段をアプリに一本化し、保護者との情報共有を迅速かつ確実に行える体制を整えた。 3 キャリア教育について、学部間の連携を意識し、進路に関する説明や情報提供の機会を計画的に設けた。 4 進路や卒業後の生活に関する理解を深めるため、保護者向け説明会や学習会の充実を図り、学校・家庭・関係機関が共通の見通しを持てるよう連携体制の強化を進めた。

5 課題その他

○卒業後の就労に向けた指導が充実している一方で、就労によって得た給与の使い方が課題となるケースがある。金銭教育や生活力育成について、具体的な将来像を想定した指導計画、内容の充実を図る必要がある。
